

現代人形 創作品集

No. 4

宇野 小四郎

現代人形劇作品集



現代人形劇作品集 No. 4

1975年6月10日発行

著者 宇野 小四郎

発行 人形劇団ひとみ座

川崎市中原区井田 869

TEL 044-777-2222

ひとみ座西部本社

熊本市清水町万石 590-24

TEL 0963-44-8832

印刷 ひとみ座印刷局

製本 大竹製本

©1975 乱丁本・落丁本はお取替します。

目次

盗まれた天文台	7
---------------	---

附 記	53
-----------	----

つぼつちよ つぼつほ つぼどん ...	63
---------------------	----

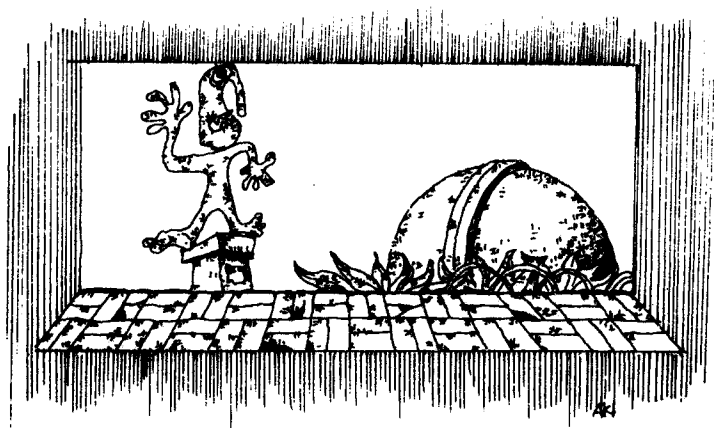
附 記	109
-----------	-----

この指とまれ	117
--------------	-----

附 記	160
-----------	-----

盗まれた天文台

盗まれた天文台



でてくるもの

文ちゃん（少年）

洋ちゃん（少年）

ミコちゃん（少女）

おじさん（公園の管理人）

宇宙人A、宇宙人B

増込（新聞を読む男）

自動車の男

犬上（犬を連れた婦人）、巡查

アナウンサーA（ホーム放送局）

アナウンサーB（ラジオ・スリル）

相田（心理学者）

ジュピター（婦人の連れた犬）

銅像

郊外の天文台の近くにある公園。公園らしい公園。遠くに点在する木立のむこ

うに、天文台の大きなドームがみえる。

下手なりに、グロテスクな男の銅像。

幕があくと、その銅像をとりはずしている洋ちゃんと文ちゃん。舞台はしに出てきて、説明するミコちゃん。

ミコちゃん みなさん、こんにちわ。ここは、わたくしたちが遊び場になっている公園です。あそこに見える丸い屋根は天文台です。それから、そこに立っている銅像は、えらいひとの銅像です。

洋ちゃんと文ちゃん、銅像をはずしてもってくる。

ふたり どつこいしょ。

文ちゃん なんてえらいひとかつていうと、人間の脳みそをセメントにしちやう大発明を

したからなんだそうです。

銅像 (ちよつと動いて、しゃべる) それだけじゃない

人間の肉をブタの肉に変える大発明もしたのじゃ。

文ちゃん そんな発明は、人間になんの役にも立たないよ。

銅像 ところが、役に立つのさ。だから、わしの銅像がー

きたのじゃよ。

ミコちゃん わたしたち、この公園は好きだけど、あん

は大きらいなのよ。

洋ちゃん だから、へんてこな銅像はとりはずして、ぼく

ちで新しい銅像をつくることにしたんだ。

銅像 そんなむちな。

三人 子どもの公園に、子どもの銅像を／

銅像 いいか／ おまえたちの脳みそをセメントにして

る。肉はブタ肉にしてやるぞ／

三人 ぼくたちの公園に新しい銅像を／



犬を連れた婦人（犬上）登場。犬、もうれつに
ほえる。

犬上 あんたたち、ちよつとそこをどいてちようだい。

三人 えっ？

犬上 そこをどいてつていうのよ。ジュピターはね、おし
つこがしたいつていつてるのよ。

三人がどくと、犬は銅像におしつこをする。お
わると犬上は、犬をつれて、去る。銅像、目を
シロクロする。

銅像 うーむ、なんたることじゃ。
三人 （わらう）



男（増込）、ラジオを肩からさげ、新聞を読みながらでてくる。

増込 静かに／ 静かにしなさい。わたしはいま、ラジオを聞きながら、新聞を読んでるところだ。気が散つてしまふよ。静かに、静かに。

増込、とおりすぎる。

とたんに、やかましい警笛が聞こえて、自動車がでてくる。三人、とびのく。

文ちゃん うわ／ あぶない／

自動車は、銅像をひきたおして、いつてしまふ。



三人 あつ／

三人、かけよつて、銅像をおこす。ペしやんこにのびた銅像。

文ちゃん あーあ、この銅像、こんなにふとつちやつた。

ミコちゃん いいきみだわ。

洋ちゃんは合石につて、銅像のまねをする。

洋ちゃん どうだい、ぼくの銅像は。

文ちゃん これよりよつぽどいいよ。

ミコちゃん あ／ 公園の番人のおじさんがくる。

文ちゃん ほんとだ／ 洋ちゃん、逃げよう。

文ちゃんとミコちゃん、逃げていく。

洋ちゃん（台石の上でまごまごする）おい、待つておくれよ。あ／＼（しかたない

銅

像のまねをする）

公園の管理人、ゴミの車を押して、でてくる。

管理人 やれやれ、いくら仕事でも、この広い公園じゅうのゴミを集めるのはたいへんなことだ。しかも、クズ箱はどこからつばなのに、道路ときたら紙クズだらけだ。（紙クズをひろって、箱に入れる。つぎに、足あとをはがしてひろう）なんだ、これは足あとか。足あとはゴミではないから、ひろわなくてもかまわない。（足あとをすてる。つぎに、銅像をみつける）これは大きなゴミだ。……はてな？ どこかで見たようなもんだぞ。……思いだした／＼ こりや、えらい人の銅像だ。人間の脳みそをセメントにしちまう発明をした人の銅像だ。しかし、なんだつてこんなにふとつちまつたのかな。（銅像をかかえ、台石にのせようとして、洋ちゃんに気づく）おや、いつのまにか、べつの銅像が立っている。

トンボがとんできて、洋ちゃんの鼻のあたまにとまる。

洋ちゃん ハクション／

管理人 あ／

洋ちゃん しまつた。

洋ちゃん、台石からとびおりて、逃げる。管理人は、銅像をなげだして追う。管理人は、しげみのかげで洋ちゃんをつかまえ、つれてくる。

管理人 さあ、つかまえたぞ。こないたずらをするとは、わるい子どもだ。

洋ちゃん 銅像をべしやんこにしちやつたのは、自動車なんだよ。

管理人 そんなことをいつてもだめだ。

洋ちゃん ほんとだよ、銅像に聞いてごらんよ。

管理人 銅像が口をきくものか。

洋ちゃん ほんとだよ、口をきくよ、ねえ／